

近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署 ひろほく通信

シカ被害対策推進協定を締結しました

広島北部森林管理署では、昨年度大土山国有林、谷坂山国有林外で行ったニホンジカ生息調査で、国有林内でのニホンジカの生息を確認するとともに、更に幼獣も確認できたことから、既にこの地域で繁殖していることが確認されました。このような状況を踏まえ、10月24日安芸高田市、安芸高田市有害鳥獣捕獲班連絡協議会と広島北部森林管理署との間で、3者が相互に連携してシカ捕獲に取り組むとした協定を締結しました。この協定は、安芸高田市内の民有林、国有林をエリアとしてシカ捕獲に取り組むもので、広島北部森林管理署からシカ捕獲に必要な罠等の無償提供、捕獲技術等の情報提供等を行い、有害鳥獣捕獲班が実際に捕獲していきます。また、安芸高田市は、捕獲したシカの有効利用(ジビエ)等に関する支援等を行います。



調印する各機関・団体



締結した各機関・団体の代表者



浜田市長の挨拶



沖田会長の挨拶

シカ被害対策の現地検討会を行いました

10月24日に締結したシカ被害対策推進協定を記念して、同日、安芸高田市甲田支所において、「国有林におけるシカ被害対策」をテーマとした検討会を行いました。当日は、有害鳥獣捕獲班メンバーの外、広島県、関係市町、森林組合など50名の参加がありました。検討会では、①シカ被害対策の現状と課題、②近畿中国森林管理局におけるシカ被害対策の説明に続いて、四国森林管理局森林技術・支援センターの鷹野所長から「四国森林管理局におけるシカ被害対策」と題した講演を行いました。特に、鷹野所長からは、四国森林管理局が独自に取り組んできた小型囲い罠(こじゃんと)について、詳細な説明がありました。その後、駐車場に会場を移して、実際に囲い罠、くくり罠の設置を実演しました。広島北部森林管理署では、シカ被害対策に関する情報発信にも取り組んでいきます。



検討会の様子



説明に耳を傾ける参加者



小型囲い罠の設置実演



罠の仕組みを確認する参加者

民国連携してシカ対策に取り組めます

広島北部森林管理署では、広島県林業課と共同で10月7日鉦原山国有林において、ニホンジカ被害対策に関する現地検討会を行いました。近年、広島県内でもニホンジカの生息数の増加、生息域の拡大により、林業での被害拡大が懸念されています。このため、神石高原町、神石郡森林組合、広島県、森林管理署の関係者13名が、実際にシカ防護柵等を設置している現場を見て、その効果や整備後の課題(メンテナンス等)を共有しました。また、県内のニホンジカ生息数の増加に伴い捕獲数も増加しているものの、全体の生息数が減らないなどの現状についても共有しました。今後広島県内において、ニホンジカ被害が顕在化していくこと、民国連携した対策を展開していくとの共通認識の下、**駆除に軸足を置いた対策**に取り組むことを確認しました。



検討会の様子



参加者からの質問



広島県林業課からの説明



取組を説明する職員



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19



国民の森林・国有林